

第1学年 国語科 年間単元指導計画

時期	単元・題材名	配当指導時数	本単元で育成すべき資質・能力 (単元の学習内容)	単元の評価規準	評価方法	教材名	主な言語活動	各教科横断的な資質・能力の育成 に関わる他教科との関連
		1	① ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	① ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査	朝のリレー 学習の見通しを持つ 思考の地図 この教科書で学習する皆さんへ	・詩を読み新たな感性を養う活動。	
				② ・音声の働きや仕組みについてすすんで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。				
4.5月	言葉に出会うために	7	① ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。	① ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査	野原は歌う 声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう	・詩を音読し新たな感性を養う活動。 ・音読・発表の基本を学ぶ活動。 ・辞書を活用し、言語活動の基本を身につける活動。 ・言葉を書き留める手段を学ぶ活動。	
			② ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。	② ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査			
				③ ・音声の働きや仕組みについてすすんで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・すすんで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査			

4.5月 月	1. 学びを開く	9	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
			<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査	<p>シュンシュン</p> <p>「聞く」情報を的確に聞き取る</p> <p>季節のしおり 春</p> <p>情報整理のレッスン</p> <p>情報を整理して書こう</p> <p>漢字1 漢字の組み立てと部首</p> <p>漢字に親しもう1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読み、作品の全体像をとらえたり、登場人物の関係の変化を整理する活動。 ・情報を的確に聞き取る活動。 ・季節を感じ感受性を養う活動。 ・情報を整理して書く活動。 ・漢字の組み立てと部首を学ぶ活動。
				<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 ・すすんで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		

6. 7 月	2. 新しい視点で	12	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うこと。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
			<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を理解・解釈すること。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈・理解している。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査	<p>ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン1 話の構成を工夫しよう 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう 漢字に親しもう2 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章を文章の構成に着目し捉える活動。 意見と根拠の結びつきを考える活動。 話の構成を工夫する活動。言葉のまとまりを考える活動。 情報を集め、読み取り、引用する活動。
			<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 すすんで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 	<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 すすんで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		

9. 10 月	3、言葉に立 ち止まる	10	① ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すととも、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	① ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すととも、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界 言葉を集めよう 言葉1 指示する言葉と接続する語句	・詩を音読したり、情景や表現の効果について交流しあう活動。 ・比喩について理解し、表現技法の役割を捉える活動。 ・口語文法の基本を学ぶ活動。
			② ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。	② ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
			/	③ ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 ・すすんで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
			① ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すととも、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	① ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すととも、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。		読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに見	・読書を楽しむための様々な方法について学ぶ活動。 ・様々な作品
	読書生活手帳		②「読むこと」において、文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えを確かなものにする。	②「読むこと」において、文章を読んで理解したに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。	ノート ワークシート		

<p>ひと言に かに</p>	<p>3</p>		<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことをすすんで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 	<p>提出物 定期考査</p>	<p>える光 読書案内 本の世界を広げよう 読書コラム 本との出会い 季節のしおり 夏</p>	<p>に触れ、本の楽しみを味わう活動。 ・季節を感じ感受性を養う活動。</p>	
		<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解すること。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うこと。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・共通語と方言の果たす役割について理解すること。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 	<p>ノート ワークシート 提出物 定期考査</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・物語や小説を読み、作品の全体像をとらえたり、登場人物の関係の変化を整理する活動。 ・作品の時代背景を捉え、 	

11、
12月

4. 心の動き

17

②

- ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること
- ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈する。
- ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。
- ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。
- ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えること。

②

- ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。
- ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。
- ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。
- ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。
- ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。

③

- ・登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって朗読しようとしている。
- ・すすんで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
- ・すすんで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
- ・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。
- ・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
- ・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
- ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

ノート
ワークシート
提出物
定期考査

ノート
ワークシート
提出物
定期考査

大人になれなかった弟たちに…
星の花が降るころに
聞き上手になろう
項目を立てて書こう
[推敲] 読み手の立場に立つ
言葉2 方言と共通語
漢字2 漢字の音訓

題名の意味について考える活動。

- ・主人公を中心に作品の内容を捉える活動。
- ・聞き上手になるための工夫をする活動。
- ・項目を立てて書く練習をする活動。
- ・読み手の立場に立って、文章を推敲する活動。
- ・方言と共通語について学ぶ活動。
- ・漢字の音訓について学ぶ活動。

11、 12月	5、筋道を立てて	15	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること。 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えていること。 	<p>ノート ワークシート 提出物 定期考査</p>	<p>「言葉」をもつ鳥、シ ジュウカラ 思考のレッスン2 根拠を示して説明しよう [話し合い]話し合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう 音読を楽しもう 大阿蘇 季節のしおり 秋 漢字に親しもう3</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記録文を読み、文章の構成と内容を捉える活動。 原因と結果の関係を捉える活動。根拠を示して説明する活動。 話し合いの展開を捉える活動。 話題や展開を捉えて話し合う活動。 詩を音読し、言葉の響きやリズムを味わう活動。 季節を感じ 	
------------	----------	----	--	--	---	---	--

			<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・すすんで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 ・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 ・すすんで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 	<p>ノート ワークシート 提出物 定期考査</p>		<p>感受性を養う活動。</p>	<p>数学の「証明」とのかかわり。</p>
11、 12月	6、いにしえの心にふれる	9	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知ること。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 ・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 	<p>ノート ワークシート 提出物 定期考査</p>		
			<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知ること。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えていく。 	<p>ノート ワークシート 提出物 定期考査</p>	<p>音読を楽しもう いろは歌 古典の世界（古典解説） 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古文を読み、音読の楽しみを味わう活動。 ・古典作品に触れ、想像の翼を広げる活動。 ・漢文（故事成語）を読み、故事から生まれた言葉を味わう活動。 ・漢文の基本を学ぶ活動。

			③ <ul style="list-style-type: none"> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。 ・すすんで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 ・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
1、2、3月	7価値を見出す	12	① <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読み、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・単語の類別について理解すること。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査	「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 漢字に親しもう4 文法への扉2言葉の関係を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文を読み、筆者の考えを要約したり、根拠を明確にして自分の意見をまとめる活動。 ・作品の書評を書き、お互いに助言しあう活動。 ・文法の基本を学ぶ活動。
			② <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基つて、自分の考えを確かなものにする。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。 ・「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		
			③ <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点をすすんで見だし、学習課題に沿って書評を書き、助言し合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査		

	読書に親しむ	1	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 冬	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通じて筆者の物の見方考え方に触れる活動。 ・季節を感じ感受性を養う活動。 	
			<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。 	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査			
			<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・単語の類別について理解すること。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。 ・共通語と方言の果たす役割について理解すること。 	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の類別について理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 	ノート ワークシート 提出物 定期考査			

1、
2、3
月

8、自分を見
つめる

25

②
・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。
・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにするこ
と。
・「書くこと」において、書く内容の中心が明確に
なるように、段落の役割などを意識して文章の構成
や展開を考えること。
・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写
などを結び付けて、内容を解釈すること。
・「書くこと」において、根拠を明確にしなが
ら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫するこ
と。
・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を
踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるよ
うに表現を工夫すること。
・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日
常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、
伝えたいことを明確にすること。
・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付
加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述
を基に捉え、要旨を把握すること。

・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を
踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるよ
うに表現を工夫している。

②
・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現
の効果について、根拠を明確にして考えている。
・「読むこと」において、文章を読んで理解したこ
とに基づいて、自分の考えを確かなものにしてい
る。
・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写
などを結び付けて、内容を解釈している。
・「書くこと」において、書く内容の中心が明確に
なるように、段落の役割などを意識して文章の構成
や展開を考えている。
・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を
踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるよ
うに表現を工夫している。
・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日
常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、
伝えたいことを明確にしている。

・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付
加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述
を基に捉え、要旨を把握している。
・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を
踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるよ
うに表現を工夫している。
・「書くこと」において、根拠を明確にしなが
ら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫してい
る。

③
・文章の構成や展開、表現の効果について積極
的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視
点から文章を書き換えようとしている。
・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり
書いたりしようとしている。
・今までの学習を生かして、積極的に単語の類
別について理解しようとしている。
・すすんで場面と場面、場面と描写などを結び
付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして
考えたことを伝え合おうとしている。
・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見
通しをもって随筆を書こうとしている。
・積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの
表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれら
を使おうとしている。
・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習
を生かして要点をフリップにまとめ、発表しよ
うとしている。
・文章を読んで理解したことに基づいて、積極
的に自分の考えを確かなものにし、考えたこと
を伝え合おうとしている。
・今までの学習を生かして、それぞれの学習課
題に粘り強く取り組もうとしている。

ノート
ワークシート
提出物
定期考査

ノート
ワークシート
提出物
定期考査

少年の日の思い出
随筆二編
構成や描写を工夫して書
こう
一年間の学びを振り返ろ
う
さくらの はなびら
漢字に親しもう5
文法への扉3単語の性質
を見つけよう
言葉3さまざまな表現技
法
漢字3漢字の成り立ち
漢字に親しもう6

・小説を読
み、作品の展
開を捉え、登
場人物の心情
の変化を捉え
る活動。
・文法の基本
を学ぶ活動。
・随筆を読
み、筆者の思
いや考えにつ
いて話し合う
活動。
・体験を基に
随筆を書く活
動。
・様々な表現
技法について
学ぶ活動。
・表現技法を
理解しながら
詩を読む活
動。

4月～ 3月	書写	① <ul style="list-style-type: none"> • 字形の整え方を理解して書くこと。 • 文字の大きさ、配列などについて理解して書くこと。 • 楷書の特徴を理解し、楷書と平仮名で文章を書くこと。 • 行書の特徴を理解して書くこと。 	① <ul style="list-style-type: none"> • 字形の整え方を理解して書いている。 • 文字の大きさ、配列などについて理解して書いている。 • 楷書と行書の基礎的な書き方を理解して書いている。 	作品	
		② <ul style="list-style-type: none"> • 楷書の特徴とそれに調和する平仮名の特徴を確かめること。 • 行書の特徴を理解すること。 	② <ul style="list-style-type: none"> • 楷書の特徴とそれに調和する平仮名の特徴を確かめている。 • 行書の特徴を理解すること。 	作品	
		20	③ <ul style="list-style-type: none"> • すずんで漢字の行書の基礎的な書き方を理解し、学習の見通しをもって文字を書こうとしている。 	作品	
合計 140					